



ダイバーシティ&インクルージョンセミナー:well-being

みんなで考える

月経をめぐるウェルビーイング

<オンライン開催 (zoom)>

本学では、2022年3月から、学内の女子トイレおよびオールジェンダートイレの一部に生理用品のディスペンサーを設置しているのをご存じでしょうか？

本セミナーでは、一人ひとりがウェルビーイングとジェンダーエクイティについて考え、受容する機会となることを期待しています。

- 日時:2022年10月24日(月) 11時~12時
- 講師: 大阪大学 人間科学研究科 杉田 映理 教授
- 受講対象者:本学教職員及び学生・一般の方

セミナー概要

日本では、コロナ禍において「生理の貧困」という社会課題が昨年注目を浴びました。しかし、国際的にはもう10年ほど前から、月経(生理)をめぐる支援や啓発活動がムーブメントとなって広がっています。それは「生理の貧困」問題への対応のみならず、ジェンダー平等を目指すエネルギーとなっています。本セミナーでは、そうした国際的な動向をご紹介しますとともに、その背景をふまえて大阪大学で展開されている生理用品無償提供のアプローチについてお話しします。

杉田映理氏 略歴

大阪大学人間科学研究科共生学系 教授。Ph.D.(人類学)。アフリカの水・衛生や月経について、フィールドワークをベースにした研究を行ってきた。現在は主に国内対象に「月経をめぐるウェルビーイング」のアクションリサーチを実施。大阪大学ユネスコチェアMeW(Menstrual wellbeing in/for social design)プロジェクトの研究代表者。著書に『月経の人類学—女子生徒たちの「生理」と開発支援』、共著に『シリーズ人間科学 助ける』など。



- お申し込みはこちら

<https://forms.office.com/r/4rHB5PiChE>



大阪大学
ダイバーシティ&インクルージョンセンター
Center for Diversity and Inclusion